学校番号	３２６

令和５年度　音楽科

教科	芸術	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ソルフェージュの観点から、聴く、演ずる、創るという音楽の諸活動を通して、音楽における知識と技能を身につけてほしいと考えている。
・学習の到達度は、提出物（楽譜）と実技テストで評価する。
・音楽の学習は、実際に音楽に接することによりなされるもので、とくに他者とアンサンブルすることにより、より深まっていくものである。
・音楽を指導できる技能を身につけてくれることを期待している。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1)視唱、視奏及び聴音に関する知識や技能を身に付けるようにする。
(2)音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する思考力、判断力、表現力を育成する。
(3)音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽譜を読み、それを歌唱やピアノなどの楽器で的確に表現することができる。	ピアノなどの楽器を演奏する技術を身につけ、また演奏される旋律を正確に聴き取り、それを記譜することができる。	楽曲に興味を持ち、主体的に歌唱や楽器で表現する態度を持っている。
評価方法	観察	観察 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元の評価規準	主な評価の観点		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	視唱	基本的な視唱 4小節 ハ長調	a.　リズム・音高を正確に再現できる。 b.　楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができる。 c.　積極的に歌唱しようとしている。	正しい音程とリズム。	全体的なフレーズを考えた表現。	積極的に歌う姿勢。
		応用的な視唱 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調	a.　リズム・音高を正確に再現できる。 b.　調号や臨時記号を理解し、楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができる。 c.　積極的に歌唱しようとしている。	正しい音程とリズム。	全体的なフレーズを考えた表現と調号や臨時記号を理解。	積極的に歌う姿勢。
	聴音	基本的な聴音 4小節 ハ長調	a.　旋律を正確に聞き取ることができる。 b.　旋律を正しく記譜することができる。 c.　積極的な音の聴取。	正確な聴取	正確な記譜	積極的な音の聴取。
		応用的な聴音 8小節 イ短調 ト長調 ヘ長調 ホ短調 ニ短調	a.　旋律を正確に聞き取ることができる。 b.　調号や臨時記号に気をつけながら旋律を正しく記譜することができる。 c.　積極的な音の聴取。	正確な聴取	正確な記譜	積極的な音の聴取。
2学期	視唱	2声の視唱 2声の旋律を二人で視唱する。	a.　楽譜を正確に読み、それを歌唱することができる。 b.楽譜を正しく読み、表情豊かに歌唱することができる。 c.相手の歌唱を聞きながら、積極的に歌唱しようとしている。	正しい音程とリズム。	正確な読譜と表情豊かな表現。	積極的に歌う姿勢。
	聴音	2声の聴音など 簡単な2声の聴音 和音の聴音	a.　演奏される異なる旋律や和声の響きをそれぞれ正確に聴き取りとることができる。 b.　調号や臨時記号に気をつけながら旋律を正しく記譜することができる。	正確な聴取	正確な記譜	積極的な音の聴取。
	視奏	簡単な視奏 応用的な視奏	a.　楽譜を正確に演奏している。 b.旋律を表情豊かに演奏することができる。 c.積極的に視奏しようとしている。	正確な演奏。	表現豊かな演奏。	積極的な表現。

3学期	視唱・視奏	歌・器楽を含んだ視唱・視奏によるアンサンブル	a. 他者の演奏を聴きながらそれにふさわしいアンサンブルを工夫している。 b. 音楽的な表現に工夫が見られる。 c. 楽曲を積極的に表現しようとしている。	正確な演奏。	表現豊かな演奏。	積極的な表現。

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。